

## 議事録（案）

会議名	金属・セラミックス技術委員会	主催者：電気学会
日時	平成 24 年 1 月 11 日（水）	場所：日本交通協会 特別談話室
出席者	木村（古河），下山（東大），高木（東芝），岩城（日立）【敬称略】	

### 【提出資料】

- 0) 前回議事録（案）
- 1) 12111-1 平成 23 年度 金属・セラミックス技術委員会分掌（更新版）
- 2) 12111-2 平成 23 年度金属・セラミックス技術委員会活動計画（更新版）
- 3) 12111-3 優秀論文発表賞 A の候補者について
- 4) 12111-4(1) 電気学会 125 年史・第 2 部\_執筆要領
- 5) 12111-4(2) 電気学会 125 年史・第 2 部\_目次検討シート
- 6) 12111-4(3) 電気学会 100 年史抜粋

### 【議事】

1. 前回議事録の確認
2. 平成 23 年度 金属・セラミックス技術委員会分掌  
前回の技術委員会において指摘のあったポイントを修正した更新版が配布され、これを最終版とすることが確認された。
3. 平成 23 年度金属・セラミックス技術委員会活動計画  
今年度の活動実績に基づく更新版が配布され、活動内容について確認した。主な活動実績は下記の通り。
  - (1) 電気学会誌特集号対応（H24 年 6 月号、テーマ：超電導材料の合成と特性評価）
    - ・論文：1 件のみ。解説記事 2 件を加え特集号を構成することで了解された。解説記事は、フジクラ、住友電工の両社に依頼済み。
  - (2) 全国大会、シンポジウム
    - ・H23 年 12 月 12 日に「超電導現象発見後 100 年の進展と将来展望」をテーマとしたシンポジウムを B 部門\_超電導応用電力機器技術委員会と共催して開催。
    - ・全国大会シンポジウムは、見送り決定。
  - (3) EINA マガジン投稿
    - ・投稿済み（木村委員長）
4. 優秀論文発表賞 A の候補者について  
下山委員から推薦のあった竹松（上智大）、杵村（東大）の両氏を候補者とする事で合意。但し、いずれも研究会での発表であり、竹松氏を A 賞候補、杵村氏を部門表彰候補とする事とした。

## 5. 電気学会 125 年史執筆分担

100 年史実績ベースの 125 年史目次検討シートおよび執筆要領に準拠し、125 年史における金属・セラミックス技術委員会担当分は以下の内容で進めることとなった。

### (1) 2 編-1 章（電気物理）

- ・ 7 節（ジョセフソンデバイス）：B 部門で不可であれば当委員会で引受（執筆\_吉川委員）
- ・ 8 節（電力用極低温材料）：執筆\_一瀬委員

### (2) 5 編-2 章（金属材料）

- ・ 1 節（総説）：執筆\_木村委員長
- ・ 2 節（鉄鋼材料）：鉄鋼メーカーに執筆依頼（担当\_岩城）
- ・ 3 節（非鉄材料）：古河電工に執筆依頼（担当\_木村委員長）
- ・ 4 節（耐熱材料）：日立製作所に執筆依頼（担当\_岩城）
- ・ 5 節（新機能材料）
  - 5-1（金属基複合材料）：古河電工に執筆依頼（担当\_木村委員長）
  - 5-2（超電導材料）：執筆\_下山委員
  - 5-3（ニューセラミックス）：JFCC に執筆依頼（担当\_下山委員）
  - 5-4（熱電材料）：執筆\_新藤委員

### (3) 5 編-4 章（電子材料）

- ・ 全節 C 部門担当が妥当ということで申し入れ
- ・ 但し、2 節（化合物半導体）、3 節（半導体超格子材料）については、C 部門不可の場合は引受（執筆\_高木委員）

## 6. 調査専門委員会の継続について

現在延長中の調査専門委員会（先進超電導材料の組織・組成と特性に関する調査専門委員会）の継続あるいは新規調査専門委員会の設立について協議した。意見および合意事項は以下の通り。

- ・ 現在の調査専門委員会は H24 年 9 月まで延長し（1 年間延長）、それまでに技術報告書をまとめる。超電導材料としての継続調査専門委員会は設けない方針。
- ・ 現状ホットな材料（太陽電池、熱電変換材料等）をテーマに取り上げられないか。
- ・ 超電導材料とホットな材料を複合したテーマ、例えば冷凍機器用材料という括りでシステム化を念頭に置いたテーマ設定も有り得る。
- ・ 調査専門委員会を継続するには、継続委員会を H24 年 10 月に発足要。
- ・ 上記議論を踏まえ、下記の資料を準備いただき、次回技術委員会で議論することになった。
  - ① 継続調査専門委員会の趣意書（たたき台）（担当\_下山委員）
  - ② 応用物理学会等における材料研究のトレンド調査（担当\_高木委員）

※ 次回開催：H24 年 4 月 23~27 日内で開催予定。

以上